

三保地区 地区別計画

(平成 23 年度～平成 27 年度)

三保地区別計画策定委員会



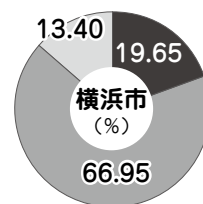
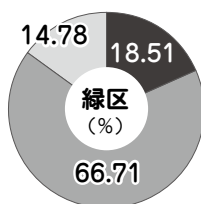
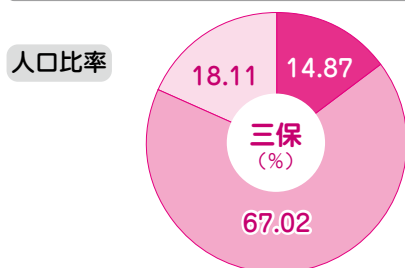
地域 三保町

区の中央に位置し、南側は旭区に隣接している。北側約半分には、いくつかの集合住宅と既存の住宅など住宅地が広がっている。南側は「三保市民の森」等、広大な緑地が残されているが、ここ数年間で開発が進み、住宅が増えている。

特別養護老人ホームが区内 8 か所中 4 か所と集中しているなど高齢者施設が多い。

<年齢区分別人口>

■ 高齢化率 (65 歳以上) ■ 生産年齢人口比率 (15 歳～64 歳) ■ 年少人口比率 (0～14 歳)



人口

75 歳～	940 人
65～74 歳	1,218 人
15～64 歳	9,718 人
6～14 歳	1,570 人
0～5 歳	1,058 人
合計	14,504 人

75 歳～	13,477 人
65～74 歳	19,300 人
15～64 歳	118,114 人
6～14 歳	15,913 人
0～5 歳	10,269 人
合計	177,073 人

75 歳～	318,878 人
65～74 歳	408,869 人
15～64 歳	2,478,327 人
6～14 歳	302,625 人
0～5 歳	193,838 人
合計	3,702,537 人

- 高齢化率 14.87%は、緑区の 18.51%より 3.64%、横浜市の 19.65%より 4.78%、それぞれ低くなっている。
- 年少人口 (0 歳～14 歳) の割合 18.11%は、緑区の 14.78%より 3.33%、横浜市の 13.40%より 4.71%、それぞれ高くなっている。

平成 22 年 (2010 年) 9 月末

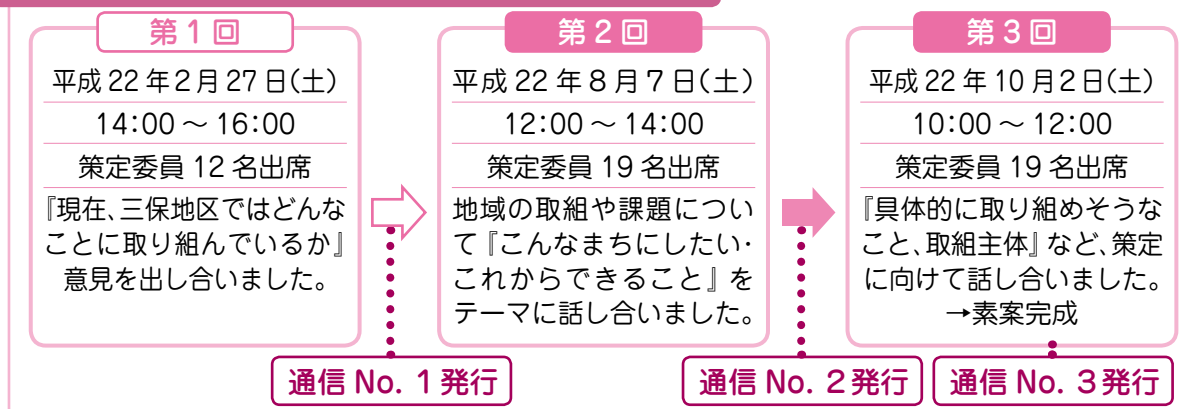


<三保地区 地区別計画策定委員>

(順不同、敬称略、○:委員長)

- 大塚 教夫
- 深海 暢夫
- 天野 邦彦
- ○湯澤 孝
- 西原 悦子
- 庄 靖夫
- 本間真理子
- 村野 洋子
- 東 朝子
- 秋山 徹雄
- 谷山 啓子
- 吉野カツ子
- 辻 伸子
- 永野マリ子
- 三浦 絹子
- 岩澤 武夫
- 落合 陽
- 武藤 恭子
- 矢嶋 照伸
- 渡辺 絢子
- 平井 充子
- 岩本 誠
- 丸山 勇治
- 杉本 里子

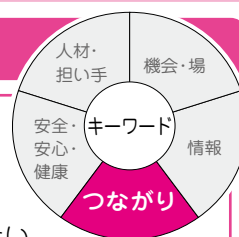
地区別計画策定委員会の開催状況 三保町自治会館



地域でのつながりを大切にしたい

【現状の課題】

- 多くの団体がさまざまな活動を行っているが、参加者がその団体内に限られており、多層・多世代の個人や団体が参加できるようにしたい。
- 1歳までの子育て支援メニューを、拡大して多くの親子の参加機会を増やしたい。



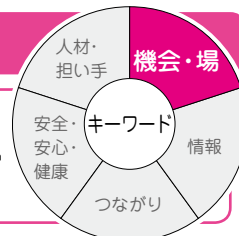
【5年間の具体的取組】

- 2大イベントの「健民祭」・「ウォークラリー」を中心につなぐりを広めたい。
- 三保小学校での「ふれあい給食」・「昔遊び」を継続・発展させたい。
- ねんじゅ坂プレイパークの利用を子どもや母親以外に高齢者・小学生等にも広めたい。
- 乳幼児の年齢や人数にとらわれず参加できる場を拡大したい。

落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

【現状の課題】

地域内に自由に使える活動拠点がほとんどなく、地区センターまで出かける等の苦労があり、活動の制約になっている。地域内に利用度の高い活動拠点を確保したい。



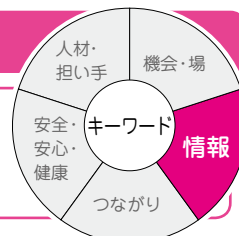
【5年間の具体的取組】

- 三保小学校・ねんじゅ坂プレイパークの利用拡大を働きかけたい。
- 各自治会や福祉施設のスペース・時間帯を提供してもらえよう働きかけたい。
- 公設施設の実現に努力するとともに、民間の空いている施設を利用できるよう、新規の施設を開拓したい。
- 高齢者や障がい者の地域活動への参加が一層活発化する交通手段を確保したい。

イベント情報等を地域で共有したい

【現状の課題】

個々の自治会や団体内の情報は行き渡っているが、その団体等に止まらず、地域全体に提供することで参加者を増やしたい。



【5年間の具体的取組】

- 自治会等の掲示板を最大限活用するほか、他の施設等にも掲示します。
- 回覧(板)ルールを周知して円滑な情報伝達を促進します。
- インターネットを利用した情報提供の方法について模索します。
- 団体間の連絡調整の場をつくりたい。

誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして
一人ひとりが生き、共にささえあうつながりのあるまちづくり

緑区 地域福祉保健計画
地域福祉活動計画

三保地区・地区別計画策定委員会
平成22年4月発行

みどりのわ・ささえ愛プラン

三保地区・地区別計画策定委員会通信 No.1

～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。

～地区別計画策定委員会って何だろう？～

地域の主な福祉保健関係団体などからの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっていきます。三保地区は13名の委員で構成されています。

平成22年2月27日(土)14時～16時、三保自治会館で「第1回三保地区・地区別計画策定委員会」を開催しました。今回は第1回目の委員会ということで、「三保地区ではどんな活動が取り組まれているか、三保地区の課題とは？」といったことを話し合いました。委員会で話し合われた内容を、地域の皆さんも是非ご覧下さい！

委員会当日の様子



～三保地区で近ごろ取り組んでいること、現在の状況～

- ・ お祭りなど自治会活動も多い。防犯パトロール等も行なっている。
- ・ 三保小学校を中心に、子育て関係で地域の人たちとのつながりができてきた。
- ・ 保健活動も区役所と連携し、三保自治会館を中心として行なっている。
- ・ 高齢者も増えているが、他の地区と比べると子どもも増えている状況だ。
- ・ ふれあい教室を実施し、ボランティアもやっている。
- ・ 中山地域ケアプラザと三保地区社協および民児協の共催事業が増えてきた。交流の場が広がったと感じている。

などなど、他にもたくさんの報告がありました。

～三保地区の今後の課題について～

その後、今後の課題について、以下のようなこと中心に話し合われました。

地域での「つながり」をもっと深めたい！

- ・ 新しく三保に来た方と昔からいる方のつながりが少ない。
- ・ 団体同士の横のつながりが少ない。
- ・ 自治会同士の活動内容を相互に理解していない部分もある。
- ・ 若い世代が多いマンション等の自治会は加入数がなかなか増えない。
- ・ 子育て中の父親同士は母親と比べて、つながりを持ちにくい。

などの点で課題を感じました。

地域の中心となる拠点が少ない・・・

- ・ ケアプラザや区役所等で事業を実施しても、場所自体が遠く、地区の活動とはならない。
- ・ 自治会館だけで活動するのも限度がある。
- ・ どの場所に中心施設をおいても中途半端に遠い施設になってしまう。

等の意見がありました。

情報をみんなで共有できる“まち”にしたい！

- ・ 個人情報壁となっていて、必要な情報が入手しにくい。
- ・ 活動の周知が難しい。

地域の活動やボランティアの募集のため、PRをしています。
⇒自治会回覧、区社協 HP、
口コミなど・・・

もっと活動に参加してもらいたい！

- ・ ボランティアや各委員等のなり手が非常に少なくなっている。
- ・ 自治会に入る人が少なくなっていて、活動が困難になってきている。

などいろいろな課題をあげていただきました。

第2回の地区別計画策定委員会では、「課題解決のためにはなにをしていけばいいのか」ということを中心に、議論を深めていきたいと思っています。

今後オブザーバーとして参加も可能です！ 意見を発信して地区別計画と一緒に作りたいと考えている方がいらっしゃったら大歓迎です！！ 下記事務局までご連絡ください！

三保



<連絡先>

三保地区・地区別計画策定委員会
事務局 TEL:930-2364
(緑区 生活衛生課長)

三保地区・地区別計画策定委員会通信 No.2

～ 「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」とは ～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所が協働で共にささえあいまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。

～ 地区別計画策定委員会とは ～

地域の主な福祉保健関係団体などからの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっていきます。三保地区は22名の委員で構成されています。

第2回 三保地区別計画策定委員会を開催しました！

日時：平成22年8月7日（土）14時～16時 会場：三保町自治会館

2月に開催した第1回策定委員会では「三保地区ではどんな活動に取り組んでいるか」について意見を出し合いました。今回は「これからできること」「こんなまちにしたい」をテーマに話し合いました。

【策定委員のみなさん】（順不同）

連合自治会、社会福祉協議会、防犯指導員、民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、ボランティアみほ、老人クラブ、友愛活動推進員、隣友会、少年補導員、消費生活推進員



三保地区ではこんな活動をしています

プレパパプレママ教室・こんにちは赤ちゃん訪問・すくすく教室
 赤ちゃん教室・子育てグループ活動
 子供会カレーパーティー・キックベースボール・中学生福祉体験教室

昔遊び・三保小学校でのふれあい
 お話会（三保小学校市民図書室）
 給食会（高齢者と小学生の交流）

健民祭・ソフトボール大会
 ウォークラリー・グランドゴルフ
 三保市民の森の維持と管理活動
 防犯パトロール・防災訓練
 一声運動

老人会バス旅行・老人会公園清掃
 ゲートボール・パタンク・敬老会・三保ミニデイ
 地区リハ教室・ボランティア活動（隣友会サロン・ボランティアみほ等）
 コスモス会（介護者のつどい）
 のんの（有志による老人ホーム訪問）

などなど、たくさんの活動が行われています。

地域でのつながり

- 行事を大切にする、あいさつ・声かけのあるまち
- ヨコ（地域）とタテ（世代）のつながりのあるまち

地域活動の拠点

- 既存施設が有効に活用されているまち
- 恵まれた自然環境を利用しているまち

情報の共有

- 地域活動を、広く地域の人たちが知ることのできるまち

活発な地域活動

- 自治会・団体・ボランティア活動に多世代が活躍するまち

- 子育て支援の交流の場を作りたい
- 地域と小学校とのつながりを続けていきたい（ふれあい給食会）
- 一つの行事にいろいろな人が関わる事でつながりを作りたい

日頃から、地域と施設・学校等とのつながりを大切にしていくことで、「場」として活用させてもらえたら…

- 三保小学校の「市民（地域）図書館」を利用（水・土・日曜日）したい
- 自治会・マンション・団地・社会福祉施設等の集会所等を相互に利用したい
- 「三保市民の森」の活用したい

PRの一つとして、社協の広報紙に掲載してみてもいいかも！

- ボランティア団体間で情報をやりとりする機会を作りたい
- 充実しているイベントや活動をもっと周知させていきたい

- 口コミや手紙での招待等、手段・方法を工夫し、行事・活動への参加者を増やしたい
- 企画から地域の人が参加できるイベントを開催したい

次回（第3回）の地区別計画策定委員会では、三保地区別計画（素案）を策定していきます。



<連絡先>
 三保地区・地区別計画策定委員会
 事務局 電話 930-2364
 （緑区 生活衛生課長 竹内）
 電話 930-2334
 （緑区 保護課長 三浦）



緑区 地域福祉保健計画
地域福祉活動計画

三保地区別計画
策定委員会
平成 22 年 11 月発行

三保地区別計画策定委員会通信 No.3

～「みどりのわ・ささえ愛プラン 地区別計画」って？～

「みどりのわ・ささえ愛プラン」は、わたしたち一人ひとりが自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができるよう、区民の方々や団体・事業者の皆様、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所等が協働で共にささえあうまちづくりを進めていくための計画です。

その中でも、「地区別計画」は、日々の暮らしの中で起きている身近な地域での“福祉・保健”をはじめ生活に関する課題の解決に向けて、地域の皆さんが検討し、順序立てて取り組むための計画です。



第 3 回 三保地区別計画策定委員会

～「地区別計画策定委員会」って？～

地域の主な福祉保健関係団体などの委員で構成されている委員会で、「地区別計画」策定の中心になっています。

三保地区は当初の 13 名から大幅に増強された 22 名の委員で構成されています。

【策定委員のみなさん】（順不同）

連合自治会、社会福祉協議会、防犯指導員、民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、ボランティアみほ、老人クラブ、友愛活動推進員、隣友会、少年補導員、消費生活推進員

別平成 22 年 10 月 2 日(土) 10 時～12 時、三保町自治会館を会場に『第 3 回三保地区・地区計画策定委員会』を開催しました。

今回は第 2 回までの委員会で検討された「取り組みそうな活動」について、さらに整理を行い「具体的に取り組みそうなこと」、「取組主体」について話し合いました。

委員会で話し合われた内容を、紹介します(裏面)ので地域の皆さんも是非ご覧下さい！

地区別計画策定委員会の開催状況 三保町自治会館

第 1 回

平成 22 年 2 月 22 日(土)

14:00 ~16:00

策定委員 12 名出席

『現在、三保地区ではどんなことに取り組んでいるか』意見を出し合いました。

第 2 回

平成 22 年 8 月 7 日(土)

12:00~14:00

策定委員 19 名出席

地域の取組や課題について『こんなまちにしたい・これからできること』をテーマに話し合いました。

第 3 回

平成 22 年 10 月 2 日(土)

10:00~12:00

策定委員 19 名出席

『具体的に取り組みそうなこと、取組主体』など、策定に向けて話し合いました。

→素案完成

三保地区別計画素案をつくるため、取組目標と具体的取組について、前回お知らせした4つの項目について話し合い、3つの目標にまとめました。

目標1 地域でのつながりを大切にしたい！

■ 現状の課題 ■

- 多くの団体がさまざまな活動を行っているが、参加者がその団体内に限られており、多層・多世代の個人や団体が参加できるようにしたい。
- 1歳までの子育て支援メニューを、拡大して多くの親子の参加機会を増やしたい。

具体的取組
5年間の

- ① 2大イベントの「健民祭」・「ウォークラリー」を中心につなぐを広めたい。
- ② 三保小学校での「ふれあい給食」・「昔遊び」を継続・発展させたい。
- ③ ねんじゅ坂プレイパークの利用を子どもや母親以外に高齢者・小学生等にも広めたい。
- ④ 乳幼児の年齢や人数にとらわれず参加できる場を拡大したい。

目標2 落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい！

■ 現状の課題 ■

地域内に自由に使える活動拠点がほとんどなく、地区センターまで出かける等の苦労があり、活動の制約になっている。地域内に利用度の高い活動拠点を確保したい。

具体的取組
5年間の

- ① 三保小学校・ねんじゅ坂プレイパークの利用拡大を働きかけたい。
- ② 各自治会や福祉施設のスペース・時間帯を提供してもらえるよう働きかけたい。
- ③ 公設施設の実現に努力するとともに、民間の空いている施設を利用できるよう、新規の施設を開拓したい。
- ④ 高齢者や障がい者の地域活動への参加が一層活発化する交通手段を確保したい。

目標3 イベント情報等を地域で共有したい！

■ 現状の課題 ■

個々の自治会や団体内の情報は行き渡っているが、その団体等に止まらず、地域全体に提供することで参加者を増やしたい。

具体的取組
5年間の

- ① 自治会等の掲示板を最大限活用するほか、他の施設等にも掲示します。
- ② 回覧(板)ルールを周知して円滑な情報伝達を促進します。
- ③ インターネットを利用した情報提供の方法について模索します。
- ④ 団体間の連絡調整の場をつくりたい。



これまでの地区別計画策定委員会での検討結果を基に、「三保地区で具体的に取組むこと」を素案にまとめ、平成23年3月には区計画と併せて地区別計画を完成させていきます。

<連絡先>

三保地区別計画策定委員会事務局
区役所保護課長 三浦
生活衛生課長 竹内
☎930-2334/2364